

平地域民生委員、児童委員変更のお知らせ

民生委員とは、地域住民の立場に立って生活上の相談に応じ、必要な支援につなげる社会福祉ボランティア（非常勤特別職地方公務員）で、厚生労働大臣から委嘱され、児童委員も兼ねています。高齢者や子育て家庭の見守り、災害時の支援など、地域福祉の向上を目指し、行政や専門機関と住民の「橋渡し役」を担う、歴史ある制度です。

12月に人事異動がありましたので、ご紹介します。

氏名	新任・再任	担当地区	備考
高田 勉	新任	下梨	
表 久義	再任	大島・箆渡	会長
鉢呂 喜代美	新任	下出、東中江、高草嶺、夏焼、入谷、寿川、大崩島	
岡部 邦夫	再任	祖山・杉尾・渡原	
滝谷 眞輔	再任	上松尾、小来栖、来栖、中畑、見座、相倉	副会長
高桑 雅実	再任	上梨・田向	
此尾 雅子	新任	主任児童委員	主任児童委員

平中学校、現校名最後の快挙——県中学駅伝で歴代最高の3位入賞

令和7年度 富山県中学校駅伝競走大会で、平中学校が歴代最高となる3位入賞を果たしました。3区10位から4区で9人抜きし1位へ浮上する力走は、現校名で迎える最後の大会に鮮やかな歴史を刻みました。選手たちは見事な走りで学校の誇りを示しました。



五箇山排球会、県大会優勝で全国大会へ——全日本選手権に挑戦

五箇山排球会が全日本総合男女選手権大会富山県予選で優勝し、11月大阪開催の全国大会出場を決めました。JVA第95回全日本バレーボール選手権大会（9人制男子）では健闘し、予選リーグで惜しくも敗退となりましたが、地域の誇りとなる堂々の全国挑戦でした。



TAIRA VOL.14 平地域づくり協議会会報 第14号 / 令和7年12月25日発行

TAIRA VOL.14

平地域づくり協議会会報 第14号 / 令和7年12月25日発行



平文化芸能祭 平中学校閉校展示

平地域づくり協議会

所在地 南砺市下梨2271
TEL 070-4436-0625
MAIL tairakyougikai2019@gmail.com

ホームページ



今年の振り返り

平地域づくり協議会
会長 南田 実

1年を振り返り、協議会会長としての出席行事や、私事を振り返ってみます。

・1月は、新年早々成人者の二十歳の集いに、若者の夢を聞き感動する。

連合会理事会にて、引き続き南砺市地域づくり連合会の副会長に、松本会長より依頼され、受けることになりました。

・2月は、雪が溶けて忘れてしまいそうだが、5日の大雪と高速道路が通行止めで一般道に車両があふれ、挙げ句は国道156号・304号線がかつてない多くのスタックが発生し、交通渋滞が長く続きました。

・3月は、スキー大会があり、小学校・中学校の卒業式が挙行された。

本年初めての、平高校全国募集6名の生徒と、地元での歓迎昼食会、すけろくで行われました。

・4月は、各学校の入学式があり、我が家では初めての平高校下宿生の金曜日からの受け入れに、一抹の不安も感じたところでしたが責任持って3年間預かり、育ててゆきたいと思います。

・5月は、今年も全国でも珍しい「小・中・高合同運動会」が行われ、多くの保護者や関係者が集まり声援を送りました。

月末には、五箇山の暮らしを支えた『郵送隊』の碑が、下梨の旧平郵便局跡地に建立されたことは、後世に残る誠に意義あることをしていただき、地域を代表して感謝の言葉を述べさせていただきました。



・6月は、南砺市消防操法大会に平チームも参加し、大健闘しました。



・7月は、五箇山こども広場の保護者からの依頼もあり、平・上平合同の市長要望書を提出。

16日に富山の高志の国文学館で開催中の『河森正治展』で、下梨出身者であり今年の大阪万博での活躍やら、アニメの世界での偉業も初めて知り、感心して見えました。(河森さんからの申し入れもあり今後の対応を、協議会で協議しながら進めていきたいと思います。)



・8月は、第5回お盆の花火大会をお楽しみいただきました。毎年天候に悩まされていて、今年是一部の地域で少し視界が悪かったようで、ごめんなさい。

・9月は、世界遺産で米作りの稲刈りがあり、今年は大変豊作でした。

富山県の防災訓練が平地域で実施され、自衛隊の航空機の低空飛行には思わず声をあげて、興奮したところでした。

・10月は、全国自治連合会の総会が富山で開催され、ここでも富山を代表する民謡のこぎりこ節が、大会のアトラクションに出演して喝采を浴びました。相倉では、世界遺産30周年の記念式典と祝賀会も賑やかに開催されました。



・11月は、第48回平文化芸能祭の開催で賑わい。市内全域に熊の出没に備え、緊急対策会議の開催があり。

15日の『みんなで農作業の日』の収穫祭では、食欲の秋を十分堪能しました。

23日には第50回記念関東富山県人五箇山会が東京であり、その総会と懇親の集いにも参加してまいります。月末の29日、30日には世界遺産サミットが行われます。

・12月は、今年はどうな冬模様になるのでしょうか？

この原稿は11月中旬に書いています。本年も花火大会への協賛やら、多くの行事に参加し、ご協力していただきありがとうございました。

来年もよろしくお祈りします。

平中学校、79年の歴史に幕

1947年の開校から79年間、平地域の子どもたちを育ててきた平中学校が、2026年春に閉校します。地域に寄り添い、四季の風景とともに歩んできた学び舎は、新たに誕生する義務教育学校「五箇山学舎」へと役割を引き継ぎます。地域の未来を見すえ、子どもたちがよりよい環境で学べるように——。平中で育まれた思い出とともに、新しい一歩が始まります。



1_平村立平中学校(S22~S52)校舎全景 2_小中高合同体育祭 3_スクールバス(S47) 4,5_平村立平中学校(S52~H23)校舎外観 6_音楽室 7_南砺市立平中学校校舎全景(H23~R8) 8_体育館

富山県総合防災訓練・平地域防災訓練を開催

9月28日、大規模災害で集落が孤立する想定のもと、SOS表記やシグナルミラーによる上空への合図、ドローン物資輸送、避難所開設、炊き出し、Starlink設置など多様な訓練を実施。住民・行政・自衛隊が連携し、命を守るための動きを一つひとつ確認しました。



SOS表記訓練

春光荘前の地面に巨大なSOSを描きました。SOSの他、地名や人数など、伝えたいことを描くことで状況が伝わりやすいそうです。



シグナルミラー訓練

太陽光にかざすと反射で居場所を知らせることができる鏡（シグナルミラー）を使い、飛行機に居場所を知らせました。



避難所開設訓練

発災時に住民が寝泊まりする避難所を設置しました。区画ごとに仕切りを設置し、簡易ベッドや簡易トイレの設営を学びました。



赤十字炊き出し訓練

ドローン物資運搬訓練の合間に、赤十字奉仕団の方々による、炊き出し訓練が行われました。お茶や炊き立ておにぎりが支給され、参加した地域住民が集いました。



Starlink設置訓練

災害時、地上インフラが寸断された際に通信手段を確保するため、衛星通信機材（Starlink）の設置訓練を行いました。インターネット接続環境が確保できることで、外部との連携がスムーズになり、早期復旧へ繋がります。



ドローン物資運搬訓練

ドローン（大きさ4m）による物資の運搬訓練が行われました。平高校から庄川をわたり、対岸の春光荘へ重さ19kgの物資が運ばれて来ました。



新田富山県知事との連携訓練

訓練の最後に、Starlinkを使ってZOOMで新田知事への報告を行いました。円滑に訓練を終えることができました。



3月 平地域スキー大会



3月 平高校全国募集入学生歓迎会



4月 春の交通安全運動



5月 世界遺産で米作り 田植え



5月 すけろくファーム



5月 平地域づくり協議会総会



6月 消防操法大会激励



6月 ケアネット講演会



8月 たいら花火大会



7月 防災講演会



8月 地域ふれあい食堂①



8月 戦没者追悼式

平地域づくり協議会 2025年イベント



9月 たいらクロスカントリー大会



9月 防災訓練



9月 秋の交通安全運動



9月 世界遺産で米作り 稲刈り



9月 敬老会・米寿を祝う会



10月 深山会お寺ライブ



10月 地域ふれあい食堂②



10月 BLS講習会



10月 平地域スポーツ大会



10月 貯筋運動教室



10月 すけろくファーム 芋掘り



11月 平文化芸能祭

すけろく公園に砂場が完成

南砺市の補助金を活用して、公園に砂場を整備しました。ルールを守って遊んでくださいね。



砂遊び道具はすけろく横に設置予定です。使ったら戻してね!

夏は泥遊びに!
冬は雪遊びに!



砂場であそぶときのやくそく



道具はつかったらもどす

すけろく利用のご案内

平地域の住民、平地域で働いている方であれば無料で貸切利用することが出来ます。キッチン完備なので食材を持ち込んで料理する事もok。空調完備なので、いつでも快適に過ごせます。飲み会・打ち合わせ・サロンなどでご活用下さい！利用後は電気や空調器具の電源オフを忘れずをお願いします。ご予約の際は平地域づくり協議会まで連絡下さい。

※中学生の利用は17:00まで
高校生の利用は19:00まで



南砺市美術展で2部門ダブル受賞——彫刻家・土屋裕さんにインタビュー



“触れて楽しむアート”を追い続けた30年。
南砺から次の挑戦へ。

廃材に命を吹き込む“参加型アート”と、五箇山で育んだ創作の原点

土屋さんが五箇山に移り住んだのは32年前。当時はがん治療の最中で、「できるなら環境の良い場所で暮らしたい」と南砺を選んだ。家具職人として働きながら、24年前から作品発表を続けてきた。学生時代にはデザインを学び、家具や塗装の仕事を経験。ここ数年で受賞が続き、今年は南砺市美術展で彫刻部門の「市展賞」と工芸部門の「市展大賞」、さらに両部門で「お気に入り作品賞」を同時受賞する快挙を成し遂げた。土屋さんの作品は、廃材を使った“参加型アート”が特徴だ。触れたり動かしたりできる作品を通して「見に来た人が楽しむ姿を見るのが一番嬉しい」と語る。荒々しい彫り跡と微笑みが魅力の円空彫にも強く影響を受けている。長年の目標だったトリエンナーレとなみ野美術展への参加も今年ついに実現。次は3年後の同展で入賞を狙い、南砺市展では菊華賞を得て招待作家として地域に貢献することが目標だ。「作る楽しさを伝えられる存在に」と土屋さんの挑戦は続く。

(写真左：彫刻作品食・道祖神、写真右：工芸作品つ・む・ぐ)



南砺市功労表彰 中島さん・北原さんが受賞

中島洋三さんは地方議員として、北原二三子さんは食生活改善推進員として地域に大きく貢献されました。

